

- 1 だいくは、一きようめに、学年・学校・組・名まえは二きようめに書き、文しよは三きようめの二はんめのマスから書きましよう。
- 2 だんらくのはじめは、一字きけて書きはじめ、だんらく()とにきようをかえましよう。
- 3 詩や文は、どのきようも二はんめのマスから書き、あたまをそらえましよう。

() 月 日 曜日

迫力のある大川の滝

一湊小学校 四年 平野 来波

わたしは今年、熊本から屋久島に引っこし

てきました。屋久島にきてから、たくさんの

場所に行きました。大川の滝に初めて行っ

たとき、一番のお気に入りは大

川の滝です。わたしが大川の滝に初めて行

ったとき、たくさんあります。

まず、高さを見てびっくりしました。高さ

は、七十二メートルあります。大川の滝の説

明文が、入り口から入って最初の場所に置

てありました。高さが七十二メートルだとい

うことも、そこにのっていました。大川の滝を

見上げると、まるで、きよだいなシャワーの

ようでした。

次にびっくりしたことは、水しぐきです。

水が勢いよく下に行くときは、ねかえって水し

がきになります。その水しぐきが、雨みたい

にかうてきて、とても気持ちが良いです。夏

が一番気持ちいいと思っので、みんなに行

- 4、と。は、それぞれ一字にかえて、「マスの中」に書きましよう。
- 5 おはなしたと「ら」の中に入れてきようをかえて、おはなしだけを書きましよう。

(不許複製)



- 1 だいてもくは、一きようめに、学年・学校・組・名または一きようめに書き、文しよは三きようめの二はんめのマスから書きましよう。
- 2 だんらくのはじめは、一字をけて書きはじめ、だんらくの二にきようをかえましよう。
- 3 詩や文は、どのきようも三はんめのマスから書き、あたまをそらえましよう。

() 月 日 曜日

てほしいなあと思います。水しかきは、近く
 まへ行ってあびることができると、足場が
 悪いので、注意が必要だとかんじました。ま
 た、そこには、バランスよくつみかさなっ
 ている石がありました。

「あれはなに？」
 と母にきいてみたら、
 「分からない。」
 と言ったので、大川の滝にきて一番思
 言ひました。あたしは、「不思議なこともある

んかなあ。おもしろいなあ。」と思いました。
 父は、大きな石を取ってきて、バランスと
 て重ねていました。

さらに、びりりしたことは、大川の滝が
 四つに分かれて流れていたことでした。滝が分
 かれているなんて、本当にびっくりしました。
 遠くから見ても見えるので、初めて見たとき
 は「あれが、大川の滝かな。」と思いました。

でも実際は、わたしが見たのは流れの内の一
 つで、大川の滝全体は、本当に大きくて、迫

- 4 .、と。は、それぞれ一字にぞえて、一マスの中に書きましよう。
- 5 おはなしたところは、「」の中に入れてきようをかえて、おはなしだけを書きましよう。

(不許複製)



- 1 だいちくは、一ぎようめに、学年・学校・組・名まえは二ぎようめに書き、文しようは三ぎようめの二ばんめのマスから書きましょう。
- 2 だんらくのはじめは、一字きけて書きはじめ、だんらくの二にぎようをかえましょう。
- 3 詩や文は、どのぎようも三ばんめのマスから書き、あたまをそろえましょう。

力がありませんでした。

大川の滝は、日本の滝百選に選ばれていま
 す。屋久島は、最大級の滝だそうです。わた
 しは、「なんび、おおかあひはなとのおこな
 のだろく」と思っ、て由来を調べてみました。
 屋久島の方言では、「こい、やてごうい」が川を意
 し、それが大川の下流にあることから、「お
 おこのたき」と呼ばれるようになった。たし、これ
 ていいます。大川の滝は、栗生地区にあります。
 私の住んでいる一湊からたいたい一時間くら
 いの場所です。

大川の滝は、私のお気に入り
 の場所になっ
 たのでまた行ってみたい
 です。

- 4 と、は、それぞれ一字にかぞえて、一マスの中に書きましょう。
- 5 おはなしたところは、「」の中に入れてぎようをかえて、おはなしだけを書きましょう。

(不許複製)

